



くれよん にじ組



あけましておめでとうございます

新しい年が始まり、今年度のクラスも3か月となりました。残りのクラス生活を楽しく過ごしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

12月の【子ども会】にご参加いただき、本当にありがとうございました。当日は温かな拍手に見守られ、練習の成果を力いっぱい見せようとする姿が見られました。本番後「あ～、楽しかった！」「ドキドキしたけど頑張った！」という声が聞かれました。この経験は子ども達にとって大きな自信とかけがえのない思い出になったことと思います。



言葉での伝え合い

幼児期の終わりにまでに育ってほしい「10の姿」の中から「言葉での伝え合い」という項目があります。「言葉での伝え合い」とは？単に「おしゃべりが上手になる」ことではありません。

“自分の気持ちや考えを相手にわかるように伝えようとする” “相手の話を聞く”ことです。これらは、コミュニケーションの土台となる大切な力となります。

友だちそのケンカや、やりたいことが違う時、「やめて！」「貸して！」という言葉だけでなく、理由や気持ちを言葉で伝えると・・・「〇〇嫌だったからやめてほしい」「今使っているから、終わるの待っててね」などとなります。

園では、最初からうまく言葉で伝えられない場面もたくさんあります。そんな時は、大人がすぐに解決するのではなく、間に入ってそれぞれの「言いたかった気持ち」を丁寧に汲み取り受け止めて、言葉にすることを大切にしています。

例：「悲しかったんだね」「〇〇っていってみようか」と大人が代弁することで、「こう言えば伝わるんだ」と少しづつ経験を積み重ねることができます。

お家ですでに、やっていると思いますが、「どんな気持ちだった？」「どうしたかったの？」と気持ちを言葉にする事と「そう思ったんだね」という受け止めも意識して、

子ども会の劇の題材を決める場面で…

いくつかのお話しの中から、どの題材にするのかという話し合いが設けられました。

最初は「絶対これがいい！」とそれに意見を譲らない姿勢でしたが、お話しを合体させよう、となったところから徐々に前向きな意見が聞かれるようになり、「こういうのはどう？」という友だちの意見に対して「それいいね！」「いいアイデアだね～！」と、お互いの意見に耳を傾けられるようになっていました。

練習の間にも、せりふの言い方を褒めあったり、場面に合わせた動きを考えるなど、友だちと一緒に劇を作り上げる楽しさをたくさん味わうことが



友だちとのトラブルの中から…

友だちとの間で何かトラブルがあると、すぐに大人に言いに来る子が多かったにじ組さん。大人に自分の気持ちを伝えることができることは大切ですが、友だちに対してどうしてほしいのか自分で伝えることも大切、と少しづつステップアップしています。

Aくんが約束をやぶっていけないことをしている、と大人に訴えてきたBくん。「それを見てBくんはどう思うの？」と聞くと「危ないからやめた方がいいと思う」と言うので、「じゃあ、Aくんにそうやって教えてあげたら？」というと、自分でAくんに「危ないからやめなよ！」と言ってあげることができました。言い方によっては相手を怒らせてしまったり、聞いてくれなくてうまくいかないことが多いですが、

